

## もくじ

ごあいさつ	02
地域とのふれあい	03
中小企業の経営支援に関する取り組み	09
地域経済活性化への取り組み	11
企業理念・おもな業績	13
組織	15
総代会	17
信金中央金庫・クローバーしんきんグループ	20
リスク管理体制	21
お客さまの保護について	23
営業のご案内	27
投資信託のご案内	31
手数料のご案内	33
サービスのご案内	35
通帳のご案内	37
資料編	38
バーゼルIII	61
あゆみ	69
索引	70
店舗のご案内	71



このまちの見る夢が、  
わたしの夢です。

緑地公園

## ごあいさつ



皆さまには、平素より飯塚信用金庫に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本年度も、「いいしん」のディスクロージャー誌「2018 IISHIN DISCLOSURE」を作成いたしました。ぜひ、ご一読いただき、「いいしん」の経営内容や事業活動についてご理解を一層深めていただければ幸いです。

国内景気は、政府・日本銀行による約5年にもおよぶアベノミクス政策の効果により、企業の業績は順調に推移し、企業収益が過去最高の水準に達するなど、1965年から始まった高度成長期のいざなぎ景気を超える長期の景気回復局面の中にあります。

しかしながら、この景気拡大の恩恵は、地域間格差といった構造的問題が一層深まりを見せる中、主として都市部や大企業に大きく偏り、地域や中小企業においては、業種間の温度差はあるものの、少子・高齢化や人口減少による成長マインドの低下等がもたらす設備投資や個人消費の伸び悩みなど多くの課題を抱え、豊かさや好景気というものを実感するに達していないのが実態であります。

海外に目を向けましても、米国トランプ政権の保護主義的な貿易政策をはじめとする政治・経済情勢の混迷、朝鮮半島をめぐる緊迫化など、不安材料が後を絶たず不透明感がさらに強まっております。

また、金融機関の経営環境でも、マイナス金利政策が継続される中で、預貸金利鞘がさらに縮小して、多くの金融機関では本業による収益の低迷が続いており、運用利回りについても低水準で推移しているところです。

そうした中、「いいしん」におきましては、平成30年度は「第四次いいしん中期事業計画」の中間年度にあたります。また、平成34年12月には、いいしん設立100周年を迎えるにあたり、より一層強い経営基盤作りに全力で取り組んでいるところであります。今後も環境の移り変わりが激しく、ますます「いいしん」に求められる機能や役割はこれまで以上に大きくなっているものと感じております。

「いいしん」は、永きに亘りこの地域で積み重ねた経験と知見をもとに、お客様本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）を念頭に置き、これまで以上に環境変化や地域のお客様が抱える課題に正面から向き合い、金融仲介機能の発揮に努めて参ります。